

ワンヘルスの森「四王寺県民の森」整備に向けて 全国初

【予算特別委員会 質疑要旨】

「ワンヘルスの森」が設置される「四王寺山」には日本最古の山城「大野城跡」があります。

大野城市の名称に由来する国の特別史跡「大野城跡」。この大野城跡は標高410mの四王寺山の山頂一帯に築かれた古代山城です。今から1355年ほど前、朝鮮半島の百濟が唐と新羅によって滅ぼされた際に、我が国は復興の援軍を派兵しました。韓国南西部の白村江で唐の水軍と対峙しますが、壊滅的な打撃を受けました。これが教科書でも有名な663年の「白村江の戦い」です。敗戦後、我が国は再度立ち上がり、中央集権国家を目指しますが、唐や新羅の襲来に備えて水城や大野城という古代山城を博多湾奥の現在地に築きま

す。
四王寺山の地形は北側に大きな谷を取り込んだU字形の尾根線が巡っており、周囲が高く、内部が低いカルデラのような特異な地形をしています。城壁はその周囲の高い縁辺部に巡らせ、総延長は約6キロメートル。おそらく東アジアでは最大級の規模を誇る山城でした。

城壁の基本は盛り土を固めた土塁、谷まで石塁をつくり、なかでも「百間石垣」という石塁は規模も大きく、その強固な威容は機能による健康づくりへの取組は、その著書が欧米でも発行され、「森林浴」は国際語ともなっており、その効能に注目が集まっているとのことです。

そこで、森林が有する健康づくりの効能について詳しく。

森林総合研究所や日本医科大学等により、森林のもつ「癒し」効果の科学的解明に関する研究が行われています。

これらの研究では、森林内でのストレスホルモンが低減されること、副交感神経活動が高まり、血圧や脈拍数低下がみられること、このような効果が免疫力を高めることなどが実証されています。森林浴を行うことは、ストレス状態の改善や、意欲の回復、自律神経系の改善、リハビリテーション効果などがあるとされています。

質問

大野城市が整備した「歴史の散歩道」で標高400mの地点までの登山が可能で、勾配が緩やかな遊歩道も縦横に走っており、ウォーキングや愛犬を連れての散歩をする人も多く、特に今のコロナ禍では、この四王寺山に登られる愛好者が増えています。遊歩道の周囲には、約50年も経た、多様な樹木があります。

「ワンヘルスの森」として、どのような整備をするのか、どのよ

とにかく圧巻です。

また、城内の各所には奈良の正倉院のような、米倉が50棟近くも整然と立ち並んでいたことが分かっており、20万人の一年分相当を蓄えたといわれています。まさに古代における非常時の食料備蓄基地でもありました。

質問

「四王寺県民の森」について。

答弁

「四王寺県民の森」は、大野城市・太宰府市・宇美町に跨る、広さ342ヘクタールの県立森林公園で、自然に関する知識の普及や健康増進を目的に設置をされています。

園内には、学習展示館のほか野外音楽堂などがあり、針葉樹、広葉樹が入り混じった多様な森林が広がっています。

また、全域が特別史跡「大野城跡」に指定されており、園内には土塁や石垣、礎石跡といった史跡展示もなされています。近年コロナ禍の影響で利用者数は減少していますが、過去5年平均でも年間25万人の利用者が訪れています。

質問

令和2年6月には、日本遺産「古代日本の「西の都」」に追加認定され、※5市2町全部で30件の

うに県民にワンヘルスを実感していただくのか。

答弁

園内にある学習展示館に、人と動物と森林の関わりなどを解説するパネルなどの展示物を整備するほか、センダンの展示林も整備します。

また、ワンヘルスを理解していただくために、ワンヘルスガイドを育成し、来訪した県民に対してワンヘルスツアーなどを実施していきます。特に、教育庁と連携して、社会科見学や遠足などの教育的利用や健康づくりでの利用を働き掛けることで、「ワンヘルスの森」の利用を推進していきます。

質問

11月開催予定のアジア獣医師会連合（FAVA）大会には、アジア・オセアニア地域、23の国と地域から3000名の方が参加されると聞いていますが、どのように「ワンヘルスの森」を紹介されるのか。

答弁

国内で唯一「ワンヘルス推進基本条例」を有する本県のワンヘルスの取組を発信していく絶好の機会と考えています。このため、県としては、この大会までに間に合うように整備を実施し、FAVA大会参加者を「ワンヘルスの森」に招き、多様な森林内で森林浴やセンダンの植栽を体験していただきます。

構成文化財とともに、1300年前の古代国際都市「西の都」を現代において体験できる場所となつていきます。

「四王寺県民の森」は、あと数年で開設50周年を迎えます。設置された経緯について。

答弁

昭和42年に明治100年記念行事として着手され、10年間の整備期間を経て、昭和51年に「福岡県立四王寺県民の森」としてオープンしました。

当初は、太宰府歴史公園の中核をなす四王寺山を中心に、県民が森林内で活動するとともに、気軽に歴史と自然に接することができると創設を目的に整備されました。昭和54年には、現在の天皇・皇太后陛下である皇太子・皇太子妃両殿下ご臨席のもと、「第3回全国育樹祭」が行われています。

質問

地域の住民にとっても、こうした大野城跡や水城跡といった史跡は非常に関心が高く、観光資源としても非常に価値があります。

大野城市には、2018年に市民ミュージアム「大野城心」のふるさと館がオープンしました。この施設は、大野城跡のプロジェクションマッピングや、「百間石垣」をモチーフとしたウォークラリーミングをはじめ、市民が

こうした体験を通じて、「ワンヘルスの森」という先進的な取り組みを、しっかりと国内外に発信していきます。

質問

昨年、私は決算特別委員会において、令和8年で創設50周年を迎える四王寺県民の森。これに向けて、歴史の大パノラマ「歴史展望台」を設置してはどうかと要望しました。県民の森の機能をさらに強化し、利用者の増加はもちろん、地域振興にもつながる。四王寺県民の森の価値を最大限に活かし、ワンヘルスを推進の象徴となるよう、地元の大野城市、太宰府市、宇美町と連携を密にし、一過性の取組とならないようにワンヘルスを実践していただきたい。

答弁

多くの県民が四王寺山を訪れ、「人と動物の健康と環境の健全性」は「一つ」ということを実感してほしい。このため、地元市町とも緊密に連携して、着実に整備を進めるとともに、「ワンヘルスの森」の更なる充実に向けた施設整備などの検討を行いながら、ワンヘルスを象徴する森となるよう計画的に取り組んでいきます。

福岡県立「四王寺県民の森」施設概要					
所在地	大野城市・太宰府市・宇美町				
敷地面積	342ha				
設置目的	自然に関する知識の普及と向上、豊かな情操の醸成、健康の増進、レクリエーション等の便宜を提供する。				
施設概要	事務研修棟、学習展示館、広場4ヶ所、野外研修場、野外音楽堂、駐車場など全域が特別史跡「大野城跡」にあり、園内には土塁や石垣、礎石跡展示もなされている。				
年度	H28	H29	H30	R1	R2
利用者人数	276,137	273,376	231,336	255,835	236,360

※5市2町（大野城市・太宰府市・筑紫野市・春日市・那珂川市・宇美町・基山町）

体験しながら興味を持って歴史などを学ぶ、世代を超えた交流を深めることができる市民ミュージアムです。オープン僅か1年で10万人の入場者を迎えるなど、好評を博しています。近年では、体験・体感ができる施設が人気となっており、その実感を味わえる「ワンヘルスの森」を整備することは、ワンヘルスの理念の周知、推進に寄与するものと考えます。「四王寺県民の森」がワンヘルスを実感できる場としてどのように適しているのですか。

答弁

園内には、多くの遊歩道コースが縦横無尽に入っています。利用者のニーズに合わせた森林内の散策ができます。

また、342ヘクタールに及ぶ広大な園内には、多様な森林が広がっており、キツネやカワセミなどといった野生生物も生息しています。健全な森林内で散策などを行いながら、生き物の息遣いを感じ、心身を整えることができるなど、人と動物、環境の健全性は「一つ」という「ワンヘルスの理念」を実感することが可能だからです。

質問

森林の働きは科学的にも実証されています。2月に開催された、「福岡県ワンヘルス国際フォーラム2022」において、日本医科大学の李教授は、森林の